

# あなたのメインバンク



明治10年の創業以来、当行では  
 地域社会と産業界への貢献と信頼づくりを不変の指針とし、  
 またその一方で、時代とともに柔軟に変化することにも意欲的に挑戦してきました。  
 これからも、「メインバンクは十六銀行」と言っていただけるように、  
 いつもお客さま一人一人の身近な存在であり、一生を通じて夢の実現を  
 お手伝いしていくパートナーとして、良質な金融サービスを提供してまいります。



取締役頭取  
**坂江博海**

## じゅうろくのあゆみ

明治10年(1877年)10月、第十六国立銀行として創業して以来、  
 地域社会や産業界から厚い信頼をいただき歩み続けてきました。

明治				昭和																										
10年	29年	9年	26年	28年	31年	35年	44年	46年	47年	48年	50年	52年	53年	54年	56年	57年	58年	60年	61年	62年										
10月	12月	11月	12月	4月	7月	4月	3月	4月	4月	10月	6月	6月	9月	4月	7月	9月	4月	10月	4月	12月	10月	7月	8月	4月	6月	12月	1月	9月	10月	
● 第十六国立銀行創業	● 株式会社十六銀行と改称	● 外国為替業務を開始	● 名古屋支店を開設	● 資本金を4億円に増資	● 東京事務所を設置	● 東京支店を開設	● 資本金を8億円に増資	● 大阪支店を開設	● 資本金を24億円に増資	● 名古屋証券取引所第二部上場	● 資本金を40億円に増資	● 事務センター竣工	● 東京証券取引所第一部上場	● 資本金を57億7千万円に増資	● 全店総合オンライン完成	● 資本金を75億1百万円に増資	● 海外コルレス業務を開始	● 新本店竣工	● 創立100周年	● 資本金を78億7千6百5万円に増資	● 総預金1兆円達成	● 資本金を100億円に増資	● 第2次オンラインシステム完成	● コルレス包括承認銀行に昇格	● 公共債の窓口販売開始	● 債券デイトリング業務を開始	● 資本金を132億円に増資	● 香港駐在員事務所を設置	● 総預金2兆円達成	● 創立110周年



## ☀ 当行の基本理念

### 基本方針

十六銀行は  
金融機関としての公共的  
使命を遂行することによって  
地域社会に奉仕する。

十六銀行は  
広い視野に立ち、  
つねに合理性を貫き堅実な  
経営により発展をはかる。

十六銀行は  
すべての職員が安定した  
生活ができるよう  
努力する。

### 経営方針

#### 頼りにして いただける 銀行

当行が歩む道—それは地域社会を離れてはありえません。地域社会との緊密化を深め、豊かで住みよい地域社会を築くことが、当行に課せられた使命です。お客さまの立場に立って行動し、総合金融サービスの拡充に努めるとともに、地元企業の育成、地域開発への参画等、地域中枢金融機関として、皆さまから一層頼りにしていただける銀行になるよう努力しています。

#### 充実した 銀行

お客さまのニーズに即応し、質の高いサービスを提供していくには、経営体質が強固でなければなりません。このため、収益力の強化、資産の健全性の維持・向上に努め、リスク管理を徹底するとともに、経営全般にわたる合理化・効率化を推進しています。

#### 行動する 銀行

激変する環境にあっても、金融機関としての機能を最大限に発揮する原動力は、高いモラルをもった活力ある人材であり、強靱な組織力です。誠意を尽くし高度な知識をもって、皆さまのお役に立つことができる人材育成に取り組みるとともに、変化に柔軟かつ的確に対応できる組織づくりに努めています。

### 行動指針

#### 職場と人生

われわれは仕事を通じて社会に  
奉仕する。職場は自己を成長させ、  
幸福をもたらす場であるとの  
自覚に立ち、つねに最善をつくそう。

#### 和の精神

信頼と協力は  
明るい職場をつくる。  
相たずさえて  
心からの和を誓おう。

#### 後継者の育成

後継者の育成はわれわれの  
責任であり誇りである。  
明日の経営に自己を活かすことを考え、  
より良い後継者を育てよう。

#### 信用の向上

銀行の生命は信用である。  
誠意をもって人に接し、  
熱意をもって仕事に当り、  
信用の向上に努めよう。

#### たくましい実行力

実行は明日を創造する。信念と勇気をもって仕事をすすめよう。

## イントロダクション

当行の基本理念	2
目次	3
ごあいさつ	4

## 平成24年度業績ハイライト

事業の概況	6
-------	---

## 経営マネジメント

コーポレート・ガバナンス	12
内部統制システム構築に関する基本方針	13
コンプライアンス態勢	14
顧客保護等管理態勢	15
リスク管理態勢	15

## 十六銀行のCSR

地域の皆さまとじゅうろく	18
--------------	----

〔法人の皆さまへ〕

地域経済活性化への取組み	22
--------------	----

〔個人の皆さまへ〕

地域経済活性化への取組み	26
--------------	----

ATMネットワーク	28
-----------	----

ローンサービスセンター	30
-------------	----

環境保全活動	32
--------	----

社会貢献活動	34
--------	----

## 十六銀行の概要

役員	38
----	----

組織	39
----	----

店舗ネットワーク	40
----------	----

店舗外キャッシュコーナー一覧	44
----------------	----

各種お問い合わせ先／手数料	46
---------------	----

主要な業務	48
-------	----



### 行章



「十」が6個で「十六」銀行を意味するとともに、「十」の字を人間模様と考え、全職員が手をつなぎ、和(輪)を誓い心をつ一つにして前進することを示しています。

### 当行の概要

創業	明治10年10月	資本金	368億円
本店所在地	岐阜市	従業員数	3,441名
営業拠点数		預金等残高	5兆1,575億円
本店	146か所	※譲渡性預金含む	
出張所	11か所	貸出金残高	3兆6,573億円
ローンサービスセンター	19か所		
海外駐在員事務所	2か所(香港・上海)		
店舗外ATM	225か所		

(平成25年3月31日現在)

全役職員が一致協力し、合併効果を早期に実現するとともに、

## 「新・十六銀行」としての 企業価値の向上をはかります

平素より十六銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

ここに、当行の営業の概況や平成25年3月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、ディスクロージャー誌を発刊いたしました。

金融機関を取り巻く環境をみますと、景気に持ち直しの動きがみられるものの、資金需要回復の足取りは重く、低金利の長期化や競争の激化等も相俟って、依然として厳しい収益環境が続いており、収益力の強化が重要な課題となっております。また、新たな自己資本規制となりますバーゼルⅢの適用を控えるなか、健全性を一層向上させ、お客さまからの信頼を揺るぎないものとしていくことが求められています。

こうしたなか、当行は岐阜銀行と合併し、計画どおり、店舗統廃合とシステム統合を同時に実施するなかで、新しい「十六銀行」としてスタートすることができました。

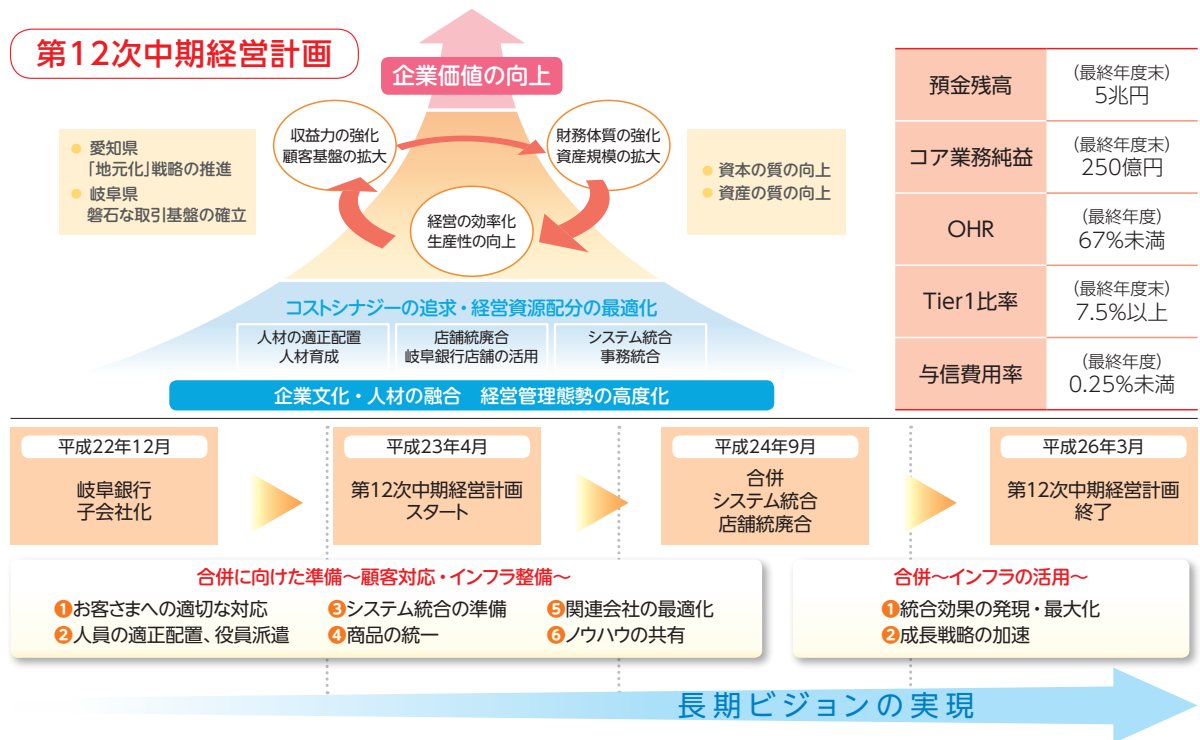
平成25年度は、岐阜銀行との合併を踏まえて策定した「第12次中期経営計画～輝かしい明日へのテイクオフ～」の仕上げの一年であり、収益力の強化、コンプライアンスの徹底および経営基盤の強化に取り組むなかで、計画目標の達成に向け全力を傾注してまいり所存であります。とりわけ、お客さまからの信頼の根幹となるコンプライアンスについては、すべての業務の基礎であることを確認し、全職員が倫理観を高め、内部統制・コンプライアンス態勢のさらなる強化をはかってまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成25年7月

取締役頭取 **堀江 博海**

## 第12次中期経営計画



## 基本戦略

本経営計画における次の基本戦略を断行し、当行グループを取り巻く課題に適切に対処してまいります。

### 経営基盤の強化

合併後の成長戦略の実践に向けて、収益力の強化に基づく中核的自己資本の充実とリスクに見合った十分な保全・引当の確保に努めることで、資本の内容の充実と資産の健全性の向上により、磐石な経営基盤の構築に取り組んでまいります。

### 合併後を見据えた愛知県・岐阜県戦略の推進

マーケットに応じたチャネルの展開、お客さまのニーズに則した商品・サービスの拡充等により、お客さまとのリレーションシップをさらに深化させ、メインバンクとしての地位確立に取り組んでまいります。

愛知県におきましては、「地元化」に向けて、新たなお客さまとの取引拡大をはかってまいりますとともに、リテールへの取組み強化や新たなチャネルの設置など積極的な営業活動を展開してまいります。

岐阜県におきましては、磐石な取引基盤の確立に向けて、既存のお客さまとの取引深耕をはかってまいりますとともに、より利用しやすいチャネルを整備してまいります。

### コストシナジーの早期発現・最大化

岐阜銀行との合併時に、システムおよび事務の統合を行うと同時に店舗統廃合を計画どおり実施した結果、当初想定していたコストシナジーの早期発現を果たしました。今後は、合併により創出された経営資源を活用することにより、統合効果の最大化をはかってまいります。

### 経営管理態勢の高度化

金融環境の変化に柔軟に対応できるよう各種リスク管理態勢を強化するとともに、お客さまからの信頼の基礎となる法令遵守・顧客保護等管理態勢の一層の充実をはかるなど、経営管理態勢の高度化に努めてまいります。

### 企業文化・人材の融合

当行・岐阜銀行両行の文化・風土の融合に努め、行員が切磋琢磨し、より高いモラルのもとで金融サービスを提供できる体制を構築してまいります。

### 地域密着型金融の推進、金融の円滑化

地域金融機関としての責務を果たすべく、地域密着型金融の取組みを経営の柱として位置づけ、地域に根ざした経営を実践すると同時に、お客さまの状況に応じた適切かつ積極的な金融仲介機能の発揮に努め、金融の円滑化に取り組んでまいります。